

2017年度
決算説明資料

2018年5月11日
旭化成株式会社

1. 2017年度実績

主要決算数値	P4～5
連結損益計算書	P6
金融収支・有利子負債残高	P7
特別損益	P8
連結貸借対照表	P9
連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費	P10
セグメント別売上高・営業利益	P11
事業別売上高・営業利益	P12～15

2. 2018年度業績予想

当期の業績予想	P17
セグメント別売上高・営業利益予想	P18
事業別売上高・営業利益予想	P19～21
3. 参考資料	
事業別業績推移	P23～24
事業別設備投資額、 減価償却費、研究開発費	P25
設備投資件名	P26
連結包括利益計算書	P27
事業別概況	P28～40

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

1. 2017年度実績

主要決算数値(1)

(億円)

	16年度	17年度	
	a	実績 b	最新予想*1 c
売上高	18,830	20,422	20,500
営業利益	1,592	1,985	1,950
経常利益	1,606	2,125	2,080
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,150	1,702	1,690

対前年度 (b-a)		対最新予想 (b-c)	
増減額	増減率	増減額	増減率
1,592	8.5%	-78	-0.4%
392	24.6%	35	1.8%
519	32.3%	45	2.2%
552	48.0%	12	0.7%

*1 2018年2月時点の予想

<前提>

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	34,675	41,925	42,250
為替レート(相場平均)			
¥/USドル	108	111	111
¥/ユーロ	119	130	129

	17/3月末	18/3月末
総資産	22,545	23,161
自己資本	11,513	12,874
有利子負債残高	4,028	3,017
D/Eレシオ	0.35	0.23

増減	
616	
1,360	
-1,011	
-0.12	

主要決算数値(2)

	16年度	17年度
1株当たり当期純利益(EPS)	82.34円	121.93円
1株当たり年間配当金	24円	34円
配当性向	29.1 %	27.9 %
総資産利益率(ROA)	5.1 %	7.4 %
自己資本利益率(ROE)	10.5 %	14.0 %
1株当たり純資産(BPS)	824.36円	922.11円

<連結対象範囲>

連結子会社数	171	171
持分法適用会社数	32	54

期末人員	33,720人	34,670人
------	---------	---------

連結損益計算書

AsahiKASEI

(億円)

(%は売上高比率)	16年度	17年度
売上高	100.0% 18,830	100.0% 20,422
売上原価	68.8% 12,963	68.2% 13,931
売上総利益	31.2% 5,867	31.8% 6,491
販管費	22.7% 4,275	22.1% 4,506
営業利益	8.5% 1,592	9.7% 1,985
営業外損益	14	141
(内、金融収支)	(21)	(40)
(内、持分法投資損益)	(49)	(131)
(内、為替差損益)	(-12)	(-30)
経常利益	8.5% 1,606	10.4% 2,125
特別損益	-32	58
税前利益	8.4% 1,574	10.7% 2,183
法人税等	-407	-461
非支配株主に帰属する 当期純利益	-17	-19
親会社株主に帰属する 当期純利益	6.1% 1,150	8.3% 1,702

増減額	増減率
1,592	8.5%
969	7.5%
624	10.6%
231	5.4%
392	24.6%
127	
(20)	
(82)	
(-17)	
519	32.3%
90	
609	38.7%
-54	
-3	
552	48.0%

金融収支・有利子負債残高

(1) 金融収支

(億円)

	16年度	17年度	増減
支払利息	-44	-46	-2
受取利息	14	21	7
受取配当金	52	66	15
その他	-1	-1	0
合 計	21	40	20

(2) 有利子負債残高

(億円)

	17/3月末	18/3月末	増減
短期借入金	1,135	1,180	45
コマーシャル・ペーパー	560	200	-360
1年内償還予定の社債	200	-	-200
社債	200	200	-
長期借入金	1,926	1,432	-494
リース債務	8	6	-2
合 計	4,028	3,017	-1,011

特別損益

(億円)

	16年度	17年度	増減
投資有価証券売却益	99	152	52
固定資産売却益	2	5	4
特別利益	101	157	56
投資有価証券評価損	1	0	-1
固定資産処分損	49	63	14
減損損失	15	22	7
事業構造改善費用	62	15	-47
統合関連費用	7	-	-7
特別損失	133	99	-34
特別損益	-32	58	90

連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	17/3月末	18/3月末	増減		17/3月末	18/3月末	増減
流動資産	8,945	9,590	644	負債	10,864	10,109	-755
現金及び預金	1,453	1,563	110	流動負債	5,949	5,891	-57
受取手形及び売掛金	3,028	3,414	386	固定負債	4,915	4,218	-697
棚卸資産	3,467	3,597	130	純資産	11,681	13,052	1,371
その他	998	1,016	18	株主資本	10,301	11,608	1,307
固定資産	13,600	13,572	-28	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	5,569	5,620	52	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	4,628	4,146	-482	利益剰余金	8,505	9,819	1,314
投資その他の資産	3,403	3,805	402	自己株式	-32	-39	-7
				その他の包括利益累計額	1,212	1,266	53
				非支配株主持分	168	178	11
資産合計	22,545	23,161	616	負債純資産合計	22,545	23,161	616

連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(1) 連結キャッシュ・フロー計算書 (億円)

	16年度	17年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	1,690	2,499
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-899	-1,103
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	790	1,396
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-740	-1,344
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-68	-9
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-17	42
現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,453	1,441
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	4	3
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	1,441	1,486

(2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費 (億円)

	16年度	17年度
設備投資額(有形)	809	882
設備投資額(無形)	97	132
設備投資額計	906	1,013
減価償却費(有形と無形(除く、のれん)の合計)	914	954
減価償却費(のれん償却額)	178	180
減価償却費	1,092	1,135
研究開発費	796	857

セグメント別売上高・営業利益

(億円)

	売上高			営業利益			17年度最新予想*1	
	16年度	17年度	増減	16年度	17年度	増減	売上高	営業利益
マテリアル*2	9,779	10,877	1,098	885	1,219	334	10,960	1,195
住宅	6,190	6,410	220	641	644	3	6,410	645
ヘルスケア	2,701	2,963	261	319	395	75	2,960	385
その他*2	160	173	12	20	19	-1	170	15
消去又は全社	-	-	-	-273	-291	-18	-	-290
合計	18,830	20,422	1,592	1,592	1,985	392	20,500	1,950

*1 2018年2月時点の予想

*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「マテリアル」セグメントに移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

事業別売上高・営業利益*1

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益			17年度最新予想*2	
	16年度	17年度	増減	16年度	17年度	増減	売上高	営業利益
繊維	1,257	1,359	102	117	121	5	1,350	125
ケミカル*3	7,128	7,993	866	744	1,001	257	8,070	980
エレクトロニクス	1,394	1,525	131	25	97	72	1,540	90
住宅	5,702	5,883	181	595	602	7	5,880	600
建材	488	527	39	45	40	-4	530	45
医薬・医療	1,339	1,357	18	171	197	25	1,360	190
クリティカルケア	1,362	1,605	243	148	198	50	1,600	195
その他*3	160	173	12	20	19	-1	170	15
消去又は全社	-	-	-	-271	-290	-19	-	-290
合計	18,830	20,422	1,592	1,592	1,985	392	20,500	1,950

*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

*2 2018年2月時点の予想

*3 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

事業別売上高・営業利益*1増減要因(1)

(億円)

		16年度	17年度	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
繊維	売上高	1,257	1,359	102	60	16	2	25	-
	営業利益	117	121	5	27			-	-38
ケミカル*2	売上高	7,128	7,993	866	238	550	76	78	-
	営業利益	744	1,001	257	87			-	-379
エレクトロニクス	売上高	1,394	1,525	131	136	-25	15	20	-
	営業利益	25	97	72	49			-	48
住宅	売上高	5,702	5,883	181	104	23	-	54	-
	営業利益	595	602	7	26			-	-42
建材	売上高	488	527	39	32	-2	-	9	-
	営業利益	45	40	-4	15			-	-18

*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

事業別売上高・営業利益*1増減要因(2)

(億円)

		16年度	17年度	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
医薬・医療	売上高	1,339	1,357	18	-17	6	1	29	-
	営業利益	171	197	25	-5			-	24
クリティカルケア	売上高	1,362	1,605	243	194	13	12	35	-
	営業利益	148	198	50	112			-	-75
その他*2	売上高	160	173	12	12	-	-	-	-
	営業利益	20	19	-1	-1			-	-0
消去又は全社	営業損失	-271	-290	-19	-	-	-	-	-19
合計	売上高	18,830	20,422	1,592	760	581	107	251	-
	営業利益	1,592	1,985	392	311			-	-499

*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

事業別海外売上高

AsahiKASEI

(億円)

	16年度			17年度			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
繊維	1,257	548	43.6%	1,359	623	45.8%	75	13.7%
ケミカル* ¹	7,128	3,285	46.1%	7,993	3,952	49.4%	666	20.3%
エレクトロニクス	1,394	968	69.4%	1,525	1,055	69.2%	87	9.0%
住宅	5,702	-	-	5,883	-	-	-	-
建材	488	0	0.0%	527	1	0.1%	1	-
医薬・医療	1,339	390	29.1%	1,357	428	31.5%	38	9.8%
クリティカルケア	1,362	1,347	98.9%	1,605	1,583	98.6%	237	17.6%
その他* ¹	160	26	16.3%	173	35	20.3%	9	34.0%
合計	18,830	6,564	34.9%	20,422	7,677	37.6%	1,113	17.0%
東アジア地域* ² への売上高		2,915	15.5%		3,426	16.8%	511	17.5%
(内、中国への売上高)		1,655	8.8%		1,834	9.0%	179	10.8%

<参考>

住宅・建材を除いた売上高 12,640 6,564 51.9% 14,012 7,676 54.8%

*1 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

*2 中国、韓国、台湾

2. 2018年度業績予想

当期の業績予想

(億円)

	16年度	17年度			18年度(予)			増減 b-a
		上	下	計a	上	下	計b	
売上高	18,830	9,647	10,775	20,422	10,370	11,180	21,550	1,128
営業利益	1,592	927	1,058	1,985	855	1,045	1,900	-85
経常利益	1,606	982	1,144	2,125	905	1,085	1,990	-135
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,150	709	994	1,702	625	775	1,400	-302

<前提>

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	34,675	37,600	46,250	41,925	50,000	50,000	50,000	8,075
為替レート(相場平均)								
¥/USドル	108	111	111	111	105	105	105	-6
¥/ユーロ	119	126	133	130	130	130	130	0

	16年度	17年度	18年度
1株当たり年間配当金	24円	34円	34円 (予定)
配当性向	29.1%	27.9%	33.9%

セグメント別売上高・営業利益予想

<売上高>

(億円)

	17年度			18年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
マテリアル	5,189	5,688	10,877	5,770	5,980	11,750	873
住宅	2,957	3,453	6,410	3,030	3,540	6,570	160
ヘルスケア	1,425	1,538	2,963	1,480	1,550	3,030	67
その他	76	96	173	90	110	200	27
合 計	9,647	10,775	20,422	10,370	11,180	21,550	1,128

<営業利益>

(億円)

	17年度			18年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
マテリアル	607	612	1,219	590	560	1,150	-69
住宅	261	382	644	240	415	655	11
ヘルスケア	184	210	395	170	205	375	-20
その他	7	12	19	10	10	20	1
消去又は全社	-133	-159	-291	-155	-145	-300	-9
合 計	927	1,058	1,985	855	1,045	1,900	-85

事業別売上高予想

(億円)

	17年度			18年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
繊維	661	698	1,359	730	760	1,490	131
ケミカル	3,752	4,242	7,993	4,250	4,400	8,650	657
エレクトロニクス	777	748	1,525	790	820	1,610	85
住宅	2,696	3,187	5,883	2,750	3,250	6,000	117
建材	261	266	527	280	290	570	43
医薬・医療	663	694	1,357	690	690	1,380	23
クリティカルケア	762	844	1,605	790	860	1,650	45
その他	76	96	173	90	110	200	27
合 計	9,647	10,775	20,422	10,370	11,180	21,550	1,128

事業別営業利益*1予想

AsahiKASEI

(億円)

	17年度			18年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
繊維	66	56	121	65	75	140	19
ケミカル	486	515	1,001	490	445	935	-66
エレクトロニクス	56	41	97	35	40	75	-22
住宅	243	359	602	220	390	610	8
建材	18	22	40	20	25	45	5
医薬・医療	99	98	197	85	90	175	-22
クリティカルケア	85	113	198	85	115	200	2
その他	7	12	19	10	10	20	1
消去又は全社	-133	-157	-290	-155	-145	-300	-10
合計	927	1,058	1,985	855	1,045	1,900	-85

*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

当期業績*1の見通し

	業績(億円)		見通し
	17年度	18年度 (予)	
繊維	売上高 1,359 営業利益 121	1,490 140	原燃料価格高騰や円高の影響を見込むが、生産設備を増設したキュプラ不織布「ベンリーゼ」や、マイクロファイバースエード「ラムース」、キュプラ繊維「ベンベルグ」の販売数量の増加を見込むことなどから、増収・増益となる見通し。
ケミカル	売上高 7,993 営業利益 1,001	8,650 935	前期のエチレンセンター(三菱ケミカル旭化成エチレン(株))定期修理の影響がなくなることや、低燃費タイヤ向け合成ゴム、エンジニアリング樹脂の販売数量の増加などから増収を見込むが、アクリロニトリルや合成ゴムなどの交易条件の悪化や円高の影響を見込むことなどから、増収・減益となる見通し。
エレクトロニクス	売上高 1,525 営業利益 97	1,610 75	セパレータ事業では、各製品で販売数量の増加を見込むが、円高の影響や事業拡大に伴う費用の増加を見込む。電子部品事業では、円高の影響や中国スマートフォン市場の減速の影響を見込む。全体で増収・減益となる見通し。
住宅	売上高 5,883 営業利益 602	6,000 610	建築請負部門で引渡棟数の減少を見込むが、不動産部門の賃貸管理事業や分譲事業に加え、リフォーム部門も順調に推移することを見込み、増収・増益となる見通し。
建材	売上高 527 営業利益 40	570 45	フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」の販売数量の増加を見込むことなどから、増収・増益となる見通し。
医薬・医療	売上高 1,357 営業利益 197	1,380 175	医薬事業では、薬価改定や後発医薬品の影響などを見込むが、骨粗鬆症治療剤「テリボン」などの販売数量の増加を見込む。医療事業では、ウイルス除去フィルター「プラノバ」などの販売が堅調に推移することを見込むが、血液浄化事業が償還価格改定の影響を受けることなどを見込む。全体で増収・減益となる見通し。
クリティカルケア	売上高 1,605 営業利益 198	1,650 200	着用型自動除細動器「LifeVest」や医療機関向け除細動器を中心に引き続き業績の拡大を見込むが、営業活動強化に伴う販管費の増加や円高の影響により、売上高は増収、営業利益は前期並みとなる見通し。

*1 セグメントの営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

3. 参考資料

事業別売上高推移

AsahiKASEI

(億円)

	16年度				17年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
繊維	309	314	314	320	320	341	347	351
ケミカル* ¹	1,670	1,679	1,852	1,928	1,783	1,968	2,141	2,101
エレクトロニクス	322	347	364	361	365	412	398	350
住宅	1,157	1,491	1,254	1,799	1,156	1,540	1,347	1,839
建材	103	123	141	121	126	135	145	121
医薬・医療	345	333	343	318	327	336	367	327
クリティカルケア	322	323	348	370	373	388	408	435
その他* ¹	29	41	45	45	36	40	44	52
合 計	4,258	4,649	4,661	5,261	4,487	5,160	5,198	5,577

*1 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

事業別営業損益*1推移

(億円)

	16年度				17年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
繊維	33	27	34	23	35	31	30	26
ケミカル*2	147	186	224	188	225	260	301	214
エレクトロニクス	-1	-2	17	10	20	36	37	4
住宅	78	168	108	241	69	173	119	240
建材	9	10	19	8	7	11	17	5
医薬・医療	68	40	54	10	53	46	82	16
クリティカルケア	28	40	40	40	37	48	54	59
その他*2	2	7	4	7	0	6	4	8
消去又は全社	-64	-66	-65	-76	-69	-64	-79	-79
合計	299	409	434	451	379	548	565	493

*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

事業別設備投資額、減価償却費、研究開発費 **AsahiKASEI**

(億円)

	設備投資額			減価償却費 ^{*1}			研究開発費		
	16年度	17年度	18年度 予想	16年度	17年度	18年度 予想	16年度	17年度	18年度 予想
繊維	94	94	140	75	82		29	29	
ケミカル ^{*2}	319	324	490	319	322		170	179	
エレクトロニクス	116	180	480	148	156		116	114	
住宅	91	159	130	69	69		26	27	
建材	30	25	40	25	26		8	10	
医薬・医療	111	69	70	66	71		197	214	
クリティカルケア	45	53	70	116	123		114	129	
その他 ^{*2}	11	12	10	13	17		1	2	
消去又は全社	88	97	70	83	89		135	153	
合計	906	1,013	1,500	914	954	880	796	857	910

<参考>

のれん償却額 178 180

*1 有形固定資産、無形固定資産(除く、のれん)の償却額を合算した金額で開示している。

*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

<17年度完工件名>

(該当なし)

<17年度末時点 工事中件名>

- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア」の生産能力増強(～18年度上期、約6,000万㎡/年、滋賀県守山市)
- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア」の生産能力増強(～19年度上期、約2億㎡/年、滋賀県守山市)
- ・溶液重合法スチレンブタジエンゴム(S-SBR)の生産能力増強(～19年1月、約3万トン/年、シンガポール)
- ・マイクロファイバースエード「ラムース」の生産設備増設(～19年度上期、約300万㎡/年、宮崎県延岡市)
- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「セルガード」の生産能力増強(～18年度下期、約1億5,000万㎡/年、米国ノースカロライナ州) 及び「ハイポア」の生産能力増強(～20年度上期、約9,000万㎡/年、滋賀県守山市)
- ・ナイロン66繊維「レオナ」の生産設備増設(～19年度上期、約5,000トン/年、宮崎県延岡市)

○: 投資額30億円以上

連結包括利益計算書

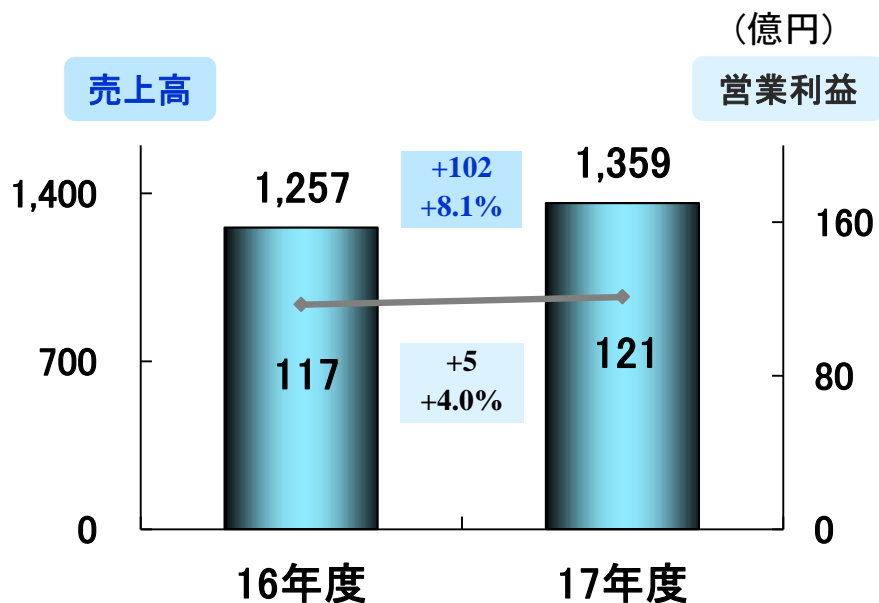
AsahiKASEI

(億円)

	16年度	17年度	増減
当期純利益①	1,167	1,722	555
その他有価証券評価差額金	212	77	-135
繰延ヘッジ損益	2	0	-2
為替換算調整勘定	-80	-123	-42
退職給付に係る調整額	81	97	16
持分法適用会社に対する持分相当額	8	4	-5
その他の包括利益合計②	223	55	-168
包括利益(①+②)	1,390	1,777	387

(内訳)

親会社株主に係る包括利益	1,370	1,756	385
非支配株主に係る包括利益	19	22	2



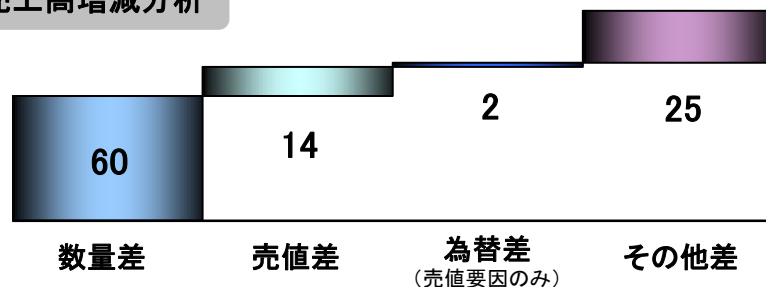
<概況>

原燃料価格高騰の影響を受けたが、マイクロファイバースエード「ラムース」を中心に業績が堅調に推移し、前期比増収、微増益となった。

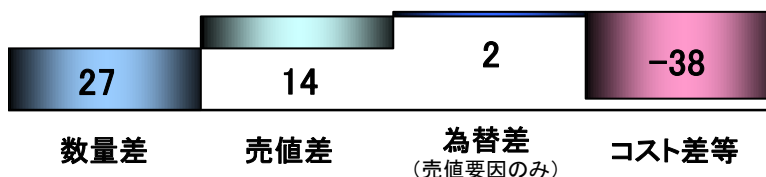
<トピックス>

- ・「ラムース」の宮崎県延岡市での生産設備増設を決定。(9月)
- ・ナイロン66繊維「レオナ」の宮崎県延岡市での生産設備増設を決定。(1月)

売上高増減分析



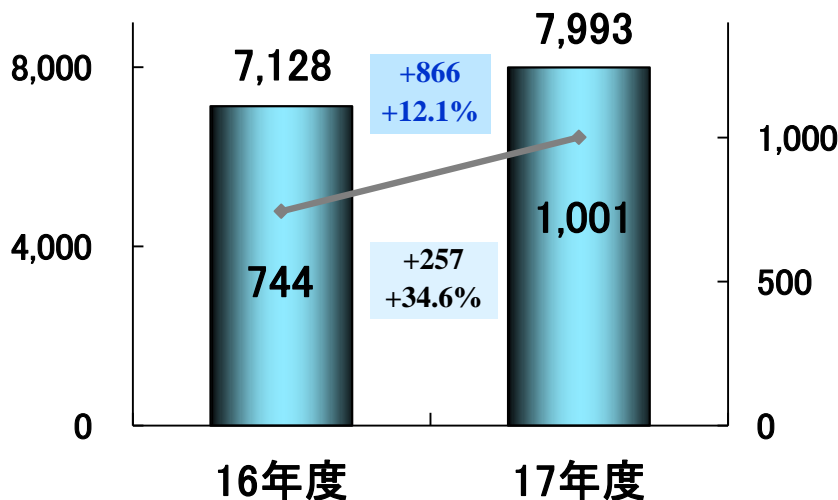
営業利益増減分析



(億円)

売上高

営業利益



<概況>

・石油化学事業

アクリロニトリルなどの取引条件が改善し、前期比増収、増益となった。

・高機能ポリマー事業

合成ゴムにおいて取引条件が改善したことや、エンジニアリング樹脂の販売が順調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

・高機能マテリアルズ事業・消費財事業

イオン交換膜や電子材料製品などの販売数量が増加したことや、「サララップ」の販売が堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

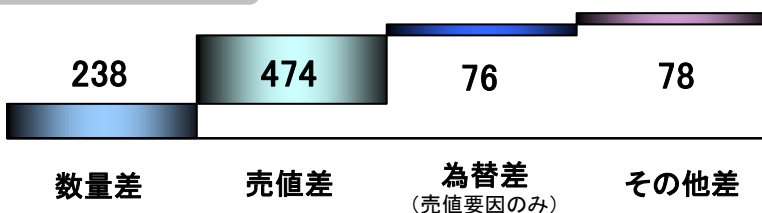
・シンガポールにおいて低燃費タイヤ向け溶液重合法スチレンブタジエンゴム(S-SBR)の生産能力増強を決定。(7月)

・中国江蘇省常熟市における樹脂コンパウンド製造工場の建設(20年初頭稼働予定)を決定。(8月)

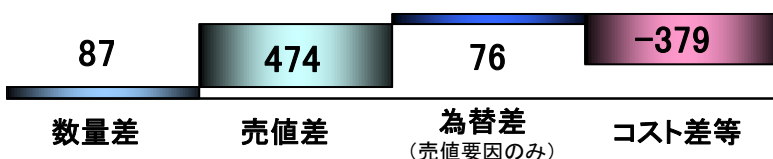
・中国藍星(集団)股份有限公司と変性PPE(ポリフェニレンエーテル)樹脂「ザイロン」およびその原料であるPPEモノマー、ポリマーの製造および販売を目的とした合弁会社をそれぞれ中国江蘇省南通市に設立。(8月)

・クウェート国クウェート市ドーハにおいて海水淡水化プラント向けに水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザ」の採用が決定し、当社過去最大水量の水処理膜を受注。(10月)

売上高増減分析



営業利益増減分析

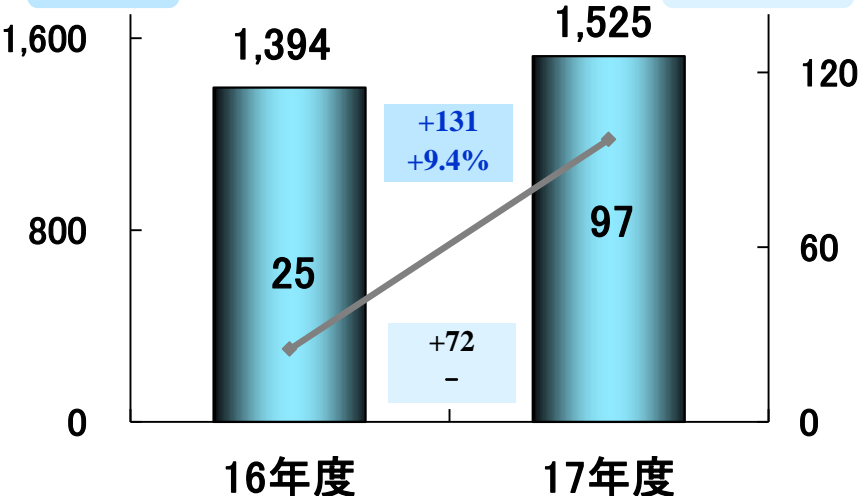


*1 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

(億円)

売上高

営業利益



<概況>

・セパレータ事業

リチウムイオン二次電池(LIB)用セパレータを中心に各製品の販売数量が大幅に増加したことなどから、前期比増収、増益となった。

・電子部品事業

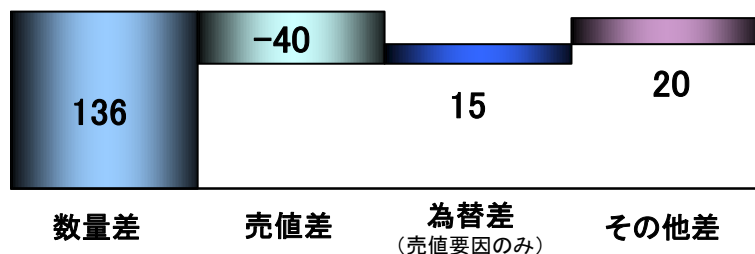
スマートフォン向けカメラモジュール用電子部品や家電向け磁気センサなどの販売が堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

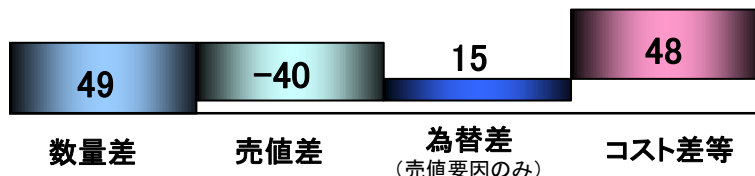
- LIB用セパレータ「セルガード」の米国ノースカロライナ州での生産能力増強(約1億5,000万㎡/年・2018年度下期商業運転開始予定)、「ハイポア」の滋賀県守山市での生産能力増強(約9,000万㎡/年・2020年度上期商業運転開始予定)を決定。(1月)

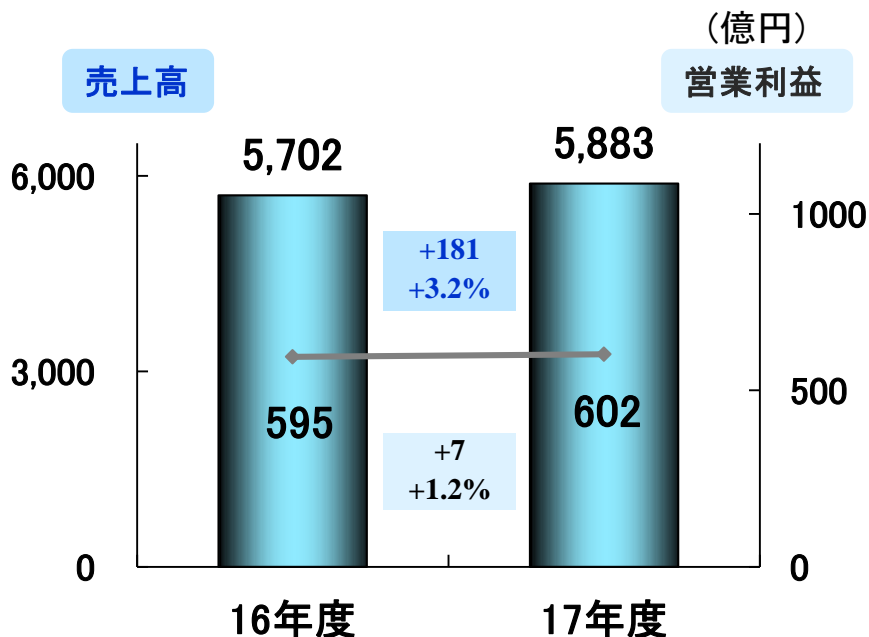
- ガスセンサモジュールメーカーであるスウェーデン Senseair ABの株式を取得する契約を締結。(1月) 株式を取得し連結子会社化。(2018年4月)

売上高増減分析



営業利益増減分析





事業別増減分析

(億円)

	16年度		17年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	4,043	416	4,068	411	25	▲5
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	1,094	100	1,241	111	147	11
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	561	57	552	58	▲9	1
その他住宅周辺事業等	4	22	22	23	18	1
合計	5,702	595	5,883	602	181	7

<概況>

・建築請負部門

- ・集合住宅「ヘーベルメゾン」を中心に引渡単価が上昇したが、労務費や広告宣伝費などの販管費が増加したことなどから、前期比増収、営業利益は前期並みとなった。
- ・建築請負部門の受注高は、戸建住宅は減少したが、集合住宅が増加したことから、前期比1.2%の増加となった。

・不動産部門、リフォーム部門等

- 不動産部門の賃貸管理事業が順調に推移し、リフォーム部門も前期並みの業績で推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・耐久型断熱「ヘーベルシェルターダブル断熱構法」を全商品に標準採用。(5月)
- ・2階建て戸建住宅の主力製品である「ヘーベルハウスキュービック」の新モデル「HEBEL HAUS CUBIC roomy (ヘーベルハウス キュービック ルーミー)」を発売。(6月)
- ・オーストラリア住宅会社McDonald Jones Homes Pty Ltdと資本提携。(8月)
- ・ALCコンクリート「ヘーベルウォール」国内生産50周年を記念し、「比類なき壁キャンペーン」を展開。(11月)
- ・アウトドアリビングと玄関アプローチを兼ねた半屋外空間を提案する戸建住宅「ヘーベルハウス のきのまent(エント)」を発売。(2018年5月)

住宅／売上高、受注高の状況

(単位: 億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	建築請負 部門売上高*1	不動産 部門売上高*1				リフォーム 部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
14	上期	2,176 (▲13.6%)	1,879 (3.9%)	98	293	14	406	263	11	2,560 (7.4%)	5,163
	下期	2,080 (22.8%)	2,162 (1.5%)	180	318	16	514	273	9	2,958 (▲0.1%)	5,145
	通期	4,257 (1.0%)	4,042 (2.6%)	278	611	31	920	536	20	5,518 (3.3%)	
15	上期	2,173 (▲0.2%)	1,838 (▲2.2%)	104	335	17	456	278	9	2,580 (0.8%)	5,546
	下期	1,831 (▲12.0%)	2,277 (5.3%)	277	390	18	684	281	7	3,250 (9.9%)	5,131
	通期	4,004 (▲5.9%)	4,115 (1.8%)	381	725	35	1,141	559	16	5,830 (5.7%)	
16	上期	2,066 (▲4.9%)	1,835 (▲0.1%)	118	412	18	548	270	▲5	2,648 (2.6%)	5,388
	下期	1,943 (6.1%)	2,208 (▲3.1%)	95	435	16	546	291	8	3,053 (▲6.1%)	5,158
	通期	4,009 (0.1%)	4,043 (▲1.8%)	213	847	34	1,094	561	4	5,702 (▲2.2%)	
17	上期	1,931 (▲6.5%)	1,827 (▲0.4%)	120	453	16	590	268	11	2,696 (1.8%)	5,289
	下期	2,125 (9.4%)	2,241 (1.5%)	147	478	25	651	284	11	3,187 (4.4%)	5,209
	通期	4,056 (1.2%)	4,068 (0.6%)	268	932	42	1,241	552	22	5,883 (3.2%)	
18	通期予	4,380 (8.0%)	4,030 (▲0.9%)	290	1,020	45	1,355	590	25	6,000 (2.0%)	5,614

*1 2015年度下期より「建築請負部門」に算入されていた旭化成ホームズの賃貸管理事業を「不動産部門」に移管し、移管後の数値で記載している。

1. 2017年度 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建 系	低層	2,217	0.9%	6,945	-0.6%	2,111	-3.2%	6,581	-4.4%
	中層	832	2.0%	3,131	0.7%	867	0.8%	3,211	-1.9%
	小計	3,049	1.2%	10,076	-0.2%	2,978	-2.1%	9,792	-3.6%
集 合 系	低層	306	-7.2%	2,136	-10.1%	336	10.4%	2,348	8.3%
	中層	650	1.5%	4,445	-7.9%	741	11.8%	4,927	8.3%
	小計	956	-1.4%	6,581	-8.6%	1,077	11.4%	7,275	8.3%
建築請負事業合計		4,005	0.6%	16,657	-3.7%	4,056	1.2%	17,067	1.1%
その他*1		63	4.6%	15	-44.4%	-	-	-	-
建築請負部門合計		4,068	0.6%	16,672	-3.8%	4,056	1.2%	17,067	1.1%

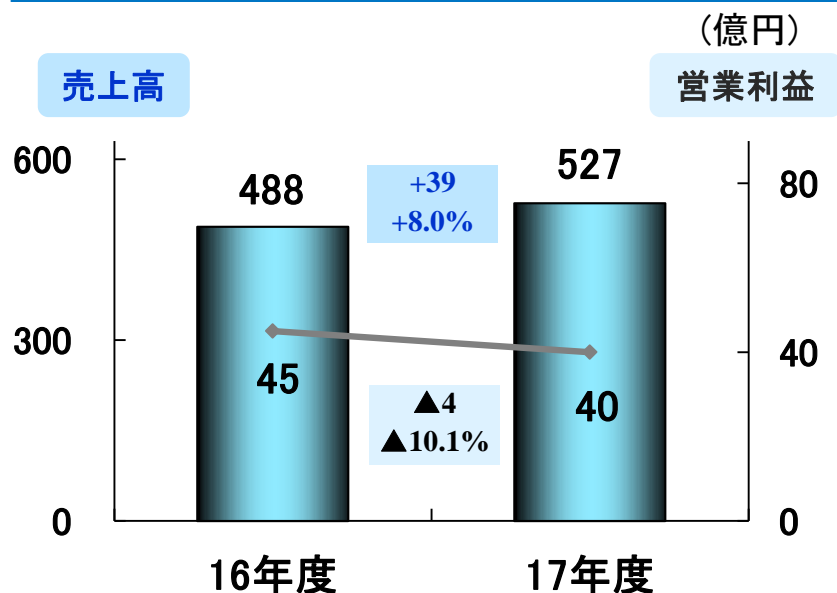
*1 一部分譲、ファイナンシャル事業等。

2. 2018年度予想 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建 系	低層	2,081	-6.2%	6,360	-8.4%	2,186	3.6%	6,890	4.7%
	中層	905	8.8%	3,400	8.6%	951	9.6%	3,670	14.3%
	小計	2,986	-2.1%	9,760	-3.1%	3,137	5.3%	10,560	7.8%
集 合 系	低層	331	8.1%	2,320	8.6%	380	13.1%	2,780	18.4%
	中層	659	1.4%	4,500	1.2%	863	16.4%	5,620	14.1%
	小計	989	3.5%	6,820	3.6%	1,243	15.4%	8,400	15.5%
建築請負事業合計		3,975	-0.7%	16,580	-0.5%	4,380	8.0%	18,960	11.1%
その他*1		55	-12.7%	10	-33.3%	-	-	-	-
建築請負部門合計		4,030	-0.9%	16,590	-0.5%	4,380	8.0%	18,960	11.1%

*1 一部分譲、ファイナンシャル事業等。



<概況>

フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」などの販売数量が堅調に推移したが、原燃料価格高騰の影響を受けたことなどから、前期比増収、減益となった。

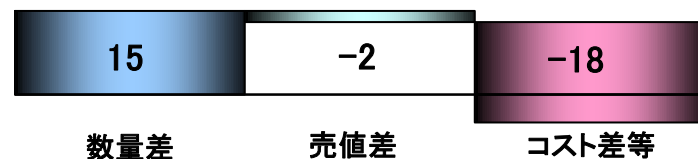
<トピックス>

- ・「ネオマフォーム」の断熱性能をさらに高めた断熱材「ネオマゼウス」を販売開始。(1月)

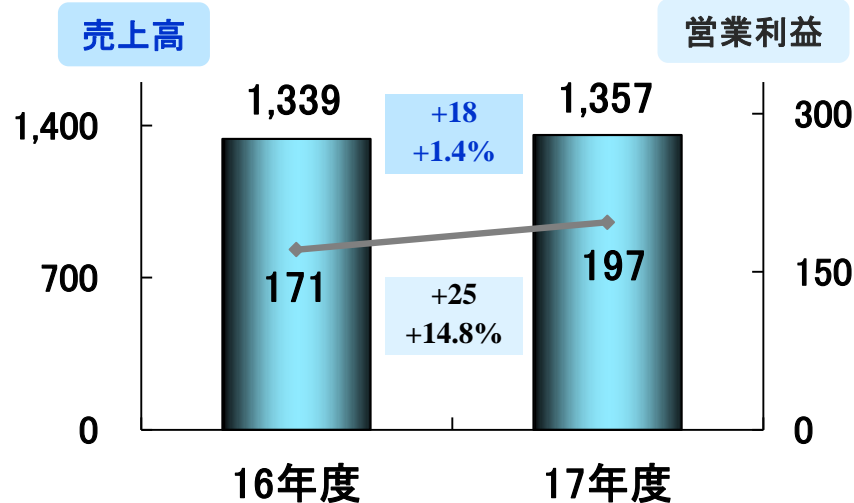
売上高増減分析



営業利益増減分析



(億円) <概況>



<概況>

・医薬事業

骨粗鬆症治療剤「テリボン」などの販売数量が増加したが、排尿障害改善剤「フリバス」を中心に後発医薬品の影響を受けたことなどから、前期比減収、減益となった。

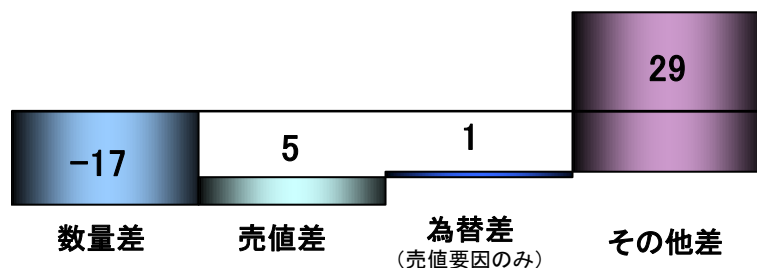
・医療事業

円安の効果に加え、各事業とも堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

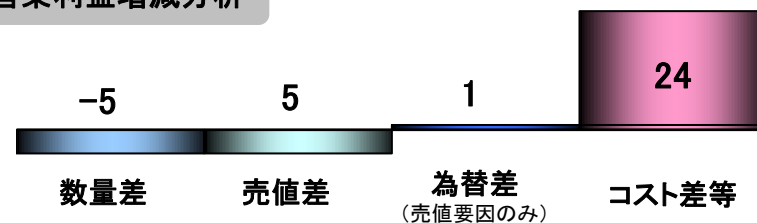
<トピックス>

- ・「テリボン 皮下注用56.5 μ g」の投与期間の上限延長承認取得。(5月)
- ・「フリバス」の中国における輸入薬品登録を申請。(6月)
- ・国内外の大学や研究機関、企業などに所属する研究者を対象に、創薬研究公募を開始。(10月)
- ・血糖コントロール指標グリコアルブミン測定試薬の米国食品医薬品局(FDA)認可取得。(10月)
- ・再発型単純疱疹に対するファムシクロビル[®]の第Ⅲ相臨床試験結果公表。(11月)
- ・サノフィ(株)と関節リウマチ治療薬「ケブザラ皮下注(一般名:サリルマブ(遺伝子組換え))」について、日本における販売に関するライセンス契約を締結。(12月)発売。(2月)
- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ」の宮崎県延岡市での紡糸工場新設による中空糸生産能力増強を決定。(12月)
- ・ラクオリア創薬(株)と新規神経障害性疼痛治療薬候補であるP2X7受容体拮抗薬について、全世界における独占的な開発・製造・販売に関するライセンス契約を締結。(3月)

売上高増減分析



営業利益増減分析



(億円)

		16年度			17年度		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬事業	国内医薬	312	302	615	305	296	601
	その他	34	29	64	28	29	57
	計	347	331	678	333	325	658
医療事業		331	330	661	330	369	700
医薬・医療 計		678	661	1,339	663	694	1,357

<主要医薬品の国内売上高>

(億円)

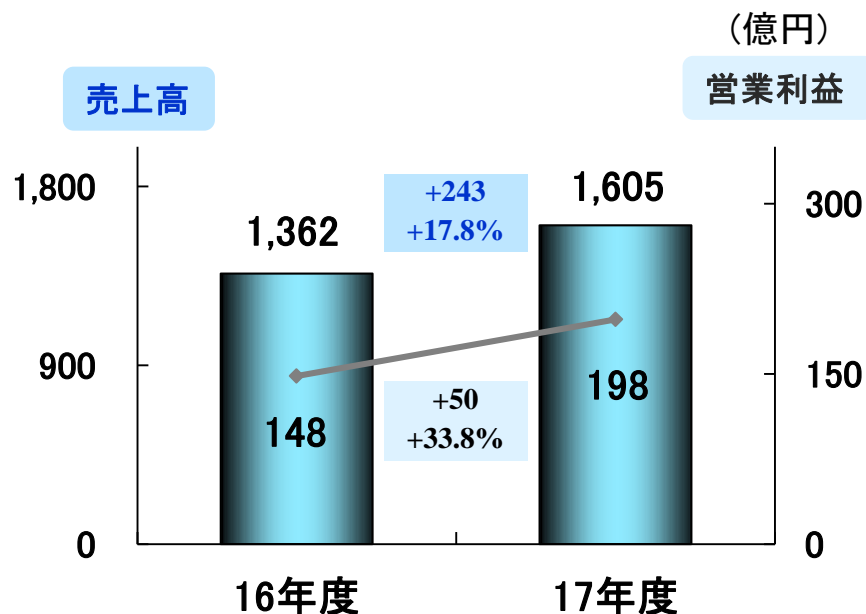
	16年度			17年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
テリボン	120	119	239	133	135	268
リコモジュリン	63	63	126	58	61	118
フリバス	31	28	59	25	21	46
ブレディニン	22	20	42	19	17	36
エルシトニン	23	20	44	19	15	34
リクラスト	—	4	4	5	6	11

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド 酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン: PTH)	骨折の危険性の高い 骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液 凝固症)	注射剤
ケブザラ	サリルマブ(遺伝子組 換え)	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分 な関節リウマチ	注射剤
フリバス	ナフトピジル	排尿障害改善剤	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	錠剤
エルシトニン注20S エルシトニン注20S ディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤
ブレディニン	ミゾリビン	免疫抑制剤	関節リウマチ、腎移植、 ネフローゼ症候群、 ループス腎炎	錠剤

		開発コード・剤型 (一般名)	薬効・分類	適応症	地域	自社/導入	備考
国内	フェーズⅢ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	特発性肺線維症の 急性増悪	日本	自社	効能追加
		MN-10-T AI・注 (テリパラチド酢酸塩)	骨粗鬆症治療剤	骨折の危険性の高い 骨粗鬆症	日本	自社	剤形追加 用量追加
		AK1820・注、カプセル (イサブコナゾニウム硫酸塩)	深在性真菌症 治療剤	深在性真菌症	日本	導入	
	フェーズⅡ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	化学療法誘発性 末梢神経障害	日本	自社	効能追加
海外	申請中	フリバス・錠 (ナフトピジル)	排尿障害改善剤	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	中国	自社	
	フェーズⅢ	ART-123・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	米国・欧州 他	自社	
		HE-69・錠 (ミゾリビン)	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	中国	自社	効能追加

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科や救急・集中治療などの領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。



<概況>

医療機関向け除細動器の販売数量が大幅に増加し、着用型自動除細動器「LifeVest」の業績が堅調に推移したことなどから、前期比増収、増益となった。

<参考:クリティカルケア事業業績推移(USドルベース)>

(百万USドル)

	16年度			17年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高(連結)	612	644	1,256	686	762	1,448
事業利益	126	133	259	138	162	300
のれん償却額	-37	-38	-75	-38	-38	-75
無形固定資産償却額等	-24	-24	-47	-23	-23	-47
償却額合計	-61	-61	-122	-61	-61	-122
営業利益(連結)	65	72	136	77	102	179